

事務事業評価票

所管部長等名	企画戦略部長 永原 辰秋
所管課・係名	秘書課 秘書・国際交流係
課長名	桑原 真澄

評価対象年度	平成23年度
--------	--------

(Plan) 事務事業の計画

事務事業名	国際化推進事業	「主なる事業の執行状況調」における件名又は事業名	国際化推進事業
会計区分	一般会計		
予算の事業名	国際化推進事業		
事業コード(大-中-小)	64	01	11
施策の体系 (八代市総合計画の実施計画における位置づけ)	基本目標(章)	市民と行政がともに歩むために	
	施策の大綱(節)【政策】	②協働によるまちづくりの推進	
	施策の展開(項)【施策】	②市民参画の推進	
	具体的な施策と内容	(1)市民参画の環境づくり	
根拠法令、要綱等			
実施手法 (該当欄を●)	● 全部直営 ○ その他()	○ 一部委託 ○ 全部委託	法令による実施義務 (該当欄を●) ○ 義務である ● 義務ではない
事業期間	開始年度	合併前	終了年度 未定

(Do) 事務事業の実施

事務事業の概要	目的	対象(誰・何を)	成果目標(どのような効果をもたらしたいのか)
	内容 (手段、手法等)	市民、市内の小中学校、在留外国人	・在留外国人と市民との国際的な相互理解を深める機会や青年海外協力隊経験者の貴重な体験を児童生徒に伝える機会をつくることで、市民の国際意識や国際感覚の涵養を図る。
事業開始時点からこれまでの状況変化等	<p>「世界の料理教室」、「おしえて海外青年協力隊」及び「行政書士入管問題無料相談会」などを実施する。</p> <p>・「世界の料理教室」では、市内に住む在留外国人を料理講師として招き、世界の料理作りを通して異文化交流を図る。</p> <p>・「おしえて海外青年協力隊」では、青年海外協力隊経験者を講師として招き、市内の小中学校において、体験に基づいた講話や交流会を行う。</p> <p>・「行政書士入管問題無料相談会」は、市内在留外国人が約1千人いる中、特に出入国や在留管理、婚姻問題等の相談を行う。</p> <p>・市民相談室や市民課等と連携した国際相談業務(日本語・中国語・英語3ヶ国語)</p> <p>・「世界の料理教室」では、受講される人が固定化されてきている。</p>		

コスト・成果指標の推移

		単位	22年度決算	23年度決算	24年度予算	25年度見込	26年度見込	27年度見込	
コスト	総事業費	千円	2,546	3,067	2,557	2,560	2,560	2,560	
	事業費(直接経費)	千円	96	617	107	110	110	110	
	財源内訳	国・県支出金	千円		500				
		使用料・手数料	千円						
		市債	千円						
		その他()	千円	37	56	56	50	50	50
	一般財源	千円	59	61	51	60	60	60	
概算人件費(正規職員)	千円	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450	2,450		
正規職員	従事者数	人	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	
	臨時職員等従事者数	人							

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	22年度実績	23年度実績	24年度見込	25年度計画	26年度計画	27年度計画
				①	世界の料理教室受講者数	35人定員の教室を2回開催し、料理を通じた異文化交流を実施し、国際理解のある市民を増やす。	人	74	70
②	おしえて海外協力隊実施校数	小中学校の総合学習の時間やキャリア教育の時間を利用し、青年海外協力隊の体験や派遣国の国情を紹介し、国際感覚を養う。実施は、毎年学校から希望による。	校	1	4	4	4	4	4

<記述欄>※数値化できない場合

※特に世界の料理教室において、参加された市民は、アンケート結果で「満足」されているが、参加されない市民からの意見は特に無いことから、単純に数値化することは難しい。

(Check) 事務事業の自己評価

事業実施の 妥当性	①	【計画上の位置付け】 事業の目的が上位政策・施策に結び つきますか	A 結びつく B 一部結びつく C 結びつかない	A (現状分析等) 【世界の料理教室・おしえて青年海外協力隊】・地域国際化や在留外国人登録者数の増加に伴い、市民が国際的見識を高め、相互理解を深める必要がある。
	②	【市民ニーズ等の状況】 市民ニーズや社会状況の変化により、 事業の役割が薄れていませんか	A 薄れていない B 少し薄れている C 薄れている	B 【世界の料理教室】・参加者が固定化され、新たな参加者を増やす 施策に務める必要がある。 ・民間でも同様の事業が開催される中、今後の事業展開は要検討。
	③	【市が関与する必要性】 市が事業主体であることは妥当 ですか(国・県・民間と競合していま せんか)	A 妥当である B あまり妥当でない C 妥当でない	B
活動内容の 有効性	①	【事業の達成状況】 成果目標の達成状況は順調に推移し ていますか	A 順調である B あまり順調ではない C 順調ではない	A (現状分析等) 【世界の料理教室】・受講される人の固定化という課題も残る。 【青年海外協力隊】・平成22年度からスタートさせた新しい事業で、平 成22年度の1校から平成23年度の4校へ順調に希望校数を増やして いる。
	②	【事業内容の見直し】 成果を向上させるため、事業内容を見 直す余地はありますか	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B
実施方法の 効率性	①	【民間委託等】 民間委託、指定管理者制度の導入な どにより、成果を下げずにコストを削 減することは可能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B (現状分析等) 【世界の料理教室】・参加者が固定化され、新たな参加者を増やす 施策に務める必要がある。 ・民間でも同様の事業が開催される中、今後の事業展開は要検討。
	②	【他事業との統合・連携】 目的や形態が類似・関連する事業と の統合・連携によりコストの削減は可 能ですか	A できない B 検討の余地あり C 可能である	A
	③	【人件費の見直し】 非常勤職員等による対応その他の方 法により、人件費の削減は可能です か	A できない B 検討の余地あり C 可能である	B
	④	【受益者負担の適正化】 受益者負担に見直しの余地はありま すか(引上げ・引下げ・新たな負担・廃 止)	A 見直しの余地はない B 検討の余地あり C 見直すべき	B

(Action) 事務事業の方向性と改革改善

今後の方向性 (該当欄を●)	○ 不要(廃止)	(今後の方向性の理由) 在留外国人登録者数の更なる増加及び観光振興などの国際化の推進事業は、年々重要かつ幅広くなっている。特に新航路開設や外国人観光客誘致等進める中で、市民の国際感覚と多文化共生の意識を高める必要がある。配置職員については、中国語や英語等の外国語の通訳もでき、かつ国際感覚を持った人材の確保が必要である。 【世界の料理教室】 ・試作の段階でレシピを映像化し、CATV放送で放映する等、多くの市民に周知したい。
	○ 民間実施	
	● 市による(民間委託の拡大・市民等との協働等)	
	○ 市による実施(要改善)	
	○ 市による実施(現行どおり)	
	○ 市による実施(規模拡充)	

改革改善内容	今後の改革改善の取組と、もたらそうとする効果		改革改善による期待成果		
	【世界の料理教室】 ・参加者が固定化される中、新たな参加者の発掘に努めるとともに、サンライフ八代でも同様の講座が開催されており、行政での開催の必要性を再検討する時期必要がある。		成果	コスト	
	向上	削減		維持	増加
	維持	○			
	低下				

外部評価の実施	無	実施年度	
---------	---	------	--

決算審査特別委員会における意見等	(委員からの意見等)
------------------	------------